

(様式1)

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

|   |   |
|---|---|
| (整理番号)<br>025   | 提案機関名<br>農業技術センター普及指導部  |
| 要望問題名<br>施設きゅうりにおけるミナミキイロアザミウマの防除対策   |   |
| 要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】<br>ミナミキイロアザミウマは、キュウリの黄化えそ病（MYSV）を媒介する難防除害虫で、湘南地域（平塚・大磯）のキュウリ産地では黄化えそ病の蔓延が大きい問題になっている。これまで、ミナミキイロアザミウマ防除は数種の薬剤でローテーション散布を行ってきたが、近年、薬剤抵抗性の獲得が著しく、農薬散布による防除だけでは被害を防ぐことが難しくなっている。現地では、物理的防除を含めた防除対策に取り組んでいるが、効果が一定せず、被害が多く発生する年もある。そのような状況の中、一部の農業者では微生物殺虫剤や天敵農薬の試験的な導入を試みているが、効果が判然としていない。そこで、これまでの物理的防除や化学的防除に加え、微生物農薬や天敵農薬などの生物的防除も組み合わせた施設キュウリの総合防除体系の研究について取り組んで頂きたい。 |   |
| 解決希望年限  | ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内            |
| 対応を希望する研究機関名  | <input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術所    ③水産技術センター<br>④自然環境保全センター |

|         |   |      |         |
|---------|---|------|---------|
| 回答機関名   | 農業技術センター  | 担当部所 | 農業環境研究部 |
| 対応区分    | ①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可   |      |         |
| 試験研究課題名 | (①、②、④の場合)  |      |         |
| 対応の内容等  | <p>御指摘のとおり、アザミウマの場合は微小であることからネット被覆防除は難しい、あるいは薬剤抵抗性の発達により農薬散布による防除も難しいことから、微生物殺虫剤や天敵農薬による防除が期待されています。微生物殺虫剤についてはこれまで効果が判然としませんでした。土中に散布することでサナギに暴露すると高い防除効果が得られることが明らかとなってきています。また、天敵ではスワルスキーカブリダニがキュウリ上での定着性が高い傾向にあり、またアザミウマ類の防除に有効であることが明らかになってきています。一方、両資材ともまだ化学合成農薬（殺虫剤・殺菌剤）の影響が十分に解明されていないことから、今後様々な研究機関で個別研究を推進することになっています。</p> <p>「施設キュウリの総合防除体系の研究」と要望ではいただいておりますが、まだ各県がそれぞれ天敵農薬と他の化学薬剤との関係を調査しているという体系化に向けた前段階について取り組まれている状況をご理解頂きたいと思っております。また、新規の化学合成農薬（殺虫剤）を含め情報提供に努めて参りますのでご了解願います。</p> |      |         |
| 解決予定年限  | ①1年以内    ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内   |      |         |